

世界へはばたけ！

マンガで知る

青年海外協力隊

サバーイディー

ສະບາຍດີ

「サバーイディー」はラオ語で「こんにちは」という意味で、ラオスの言語です。



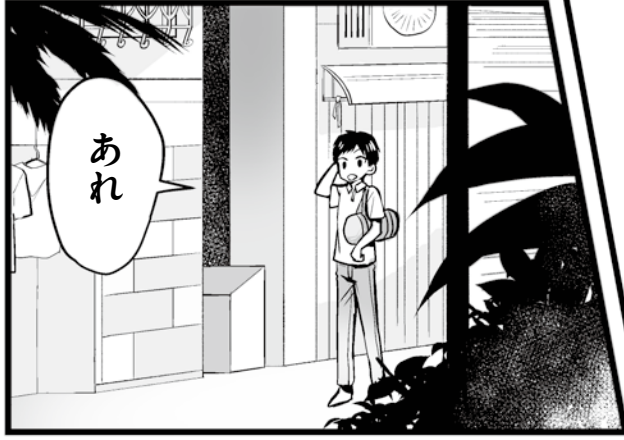
親に  
という  
え続け

他にも48もの民族が  
暮らしている  
言語はラオ語だ

オス人民民主共和国  
約650万人

ボクは米田<sup>よねだ</sup>勇太<sup>ゆうた</sup>。銀行員  
仕事の休みを利用して  
フィリピンに旅行に来ている

海外旅行は  
大学生のころから好きだ

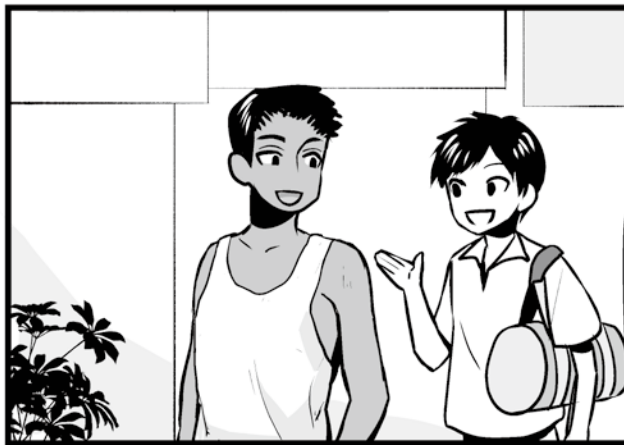


あれ



どっちだろう

どうしたの?



旅は出会いの  
連続だ

親切な地元<sup>ちよん</sup>の青年と  
お互い<sup>たが</sup>の話をしていく  
うちに仲良くなった

ボクが案内して  
あげようか?



国籍<sup>こくせき</sup>が違う<sup>ちが</sup>人とも  
こんなに  
仲良くなれるんだ...!





外で暮らしてる



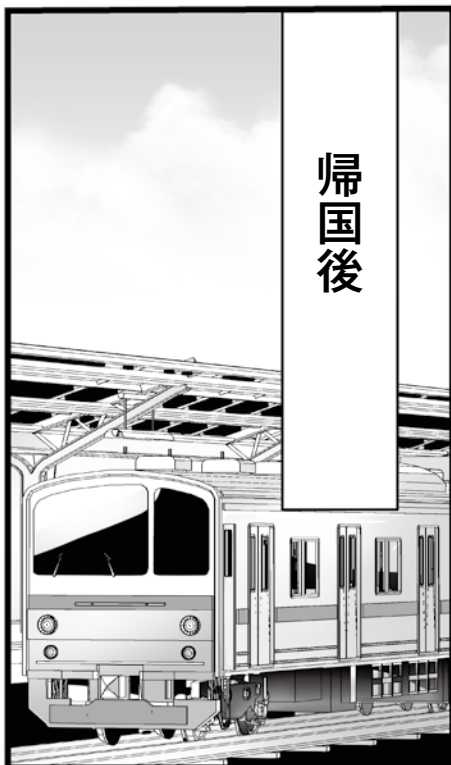
君はどこに住んでいるの？

ボクに家はないんだ



村にも帰れず  
仕方なくね…

大学に行くために  
首都へ出てきたんだけど  
お金が足りなくて  
進学できなくてさ



帰国後

そのとき  
何もできない自分が  
歯がゆく思えたのと同時に  
仲良くなった友達だからこそ  
何かできないかという  
強い気持ちが湧いた



そっか……



塾講師で理科や数学を教えた経験があるし理数科の教師なら何かできることがあるはずだ

よし、決めた！  
協力隊に参加しよう



彼は元気にしてるかな…



せいねん かいがい きょうりよくたい  
青年海外協力隊  
理数科教師 大募集!!



反対する親に行きたいという気持ち伝え続け  
説得し

協力隊に応募！

理数科教師としてラオスへの派遣が決まった



ボクが配属されたのは街から8キロメートルほど離れた公立の中高一貫校

主に中学生の数学を担当する



ラオス人民民主共和国  
人口は約650万人

人口の半数以上をラオ族という民族が占め他にも48もの民族が暮らしている  
言語はラオ語だ



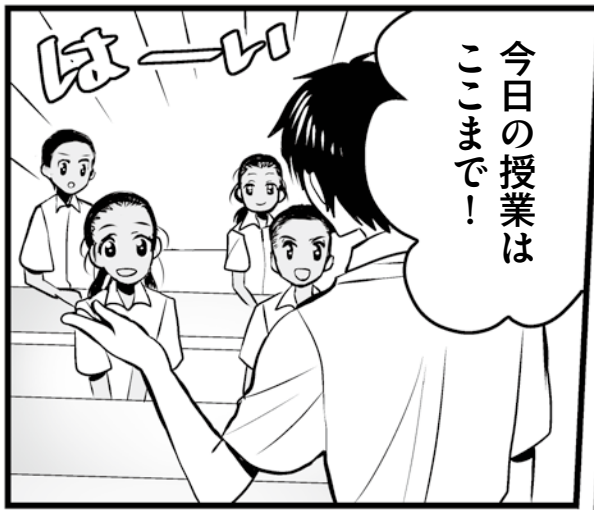
そつだ  
ボクはオリジナルの  
教材を手作りしよう

問題を解く時間も多くとれば  
もつとやる気が起きるはずだ！



まずは  
現場の先生の授業を  
見学してみることに

教科書を読んで  
黒板に書く  
ことが中心で  
生徒に考えさせる  
やり方ではないな



はーい

今日の授業は  
ここまで！

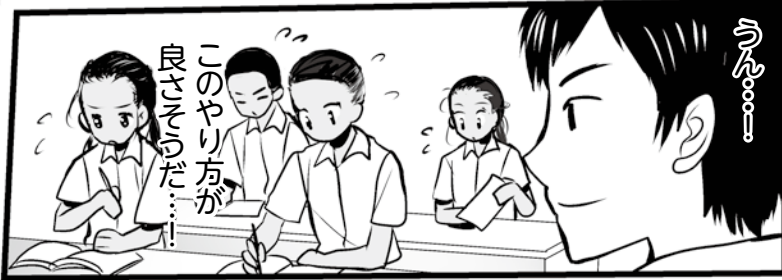


じゃあこの問題を  
解いてみよう！

はい！



先生



うん……

このやり方が  
良さそうだ……！



よい！

次の授業も  
がんばろう！

でも……困ったこともあった

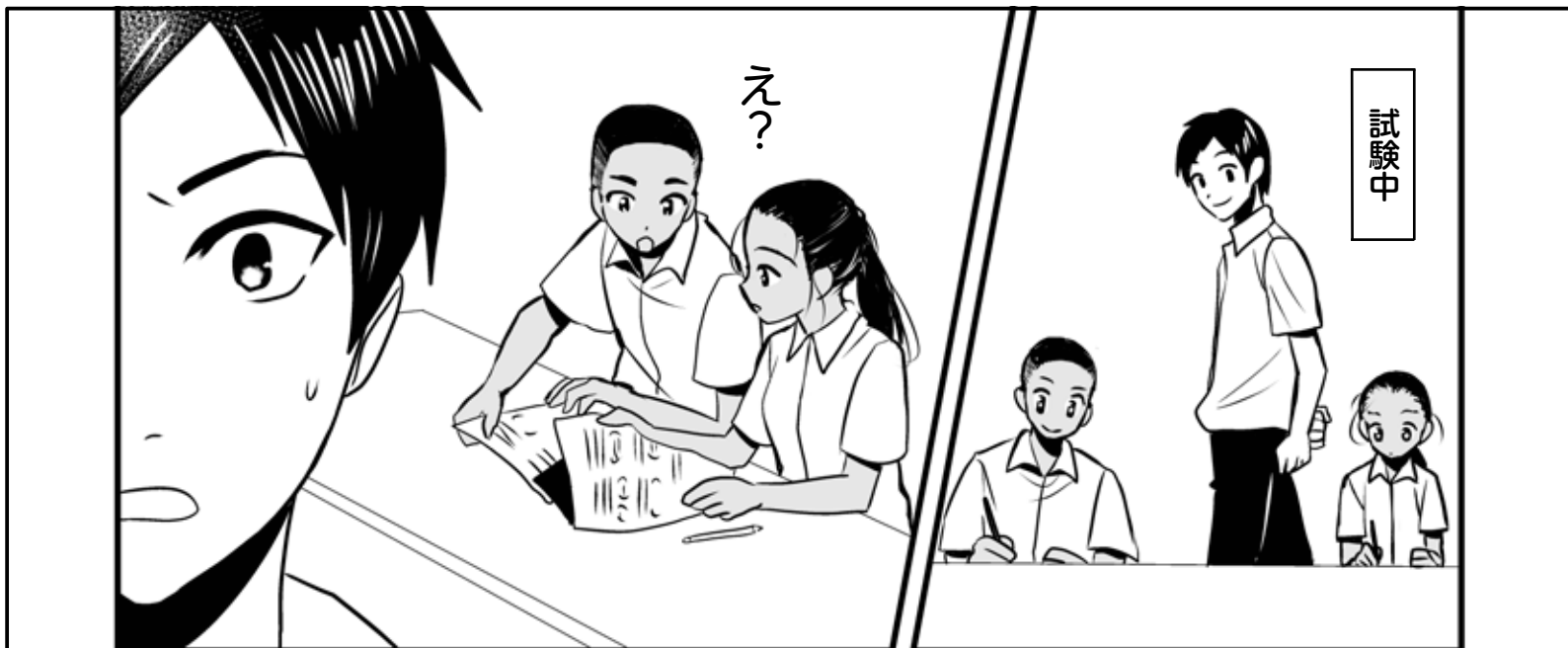


先生の授業  
すごく楽しいよ  
ボク  
勉強が好きに  
なってきた

良かった！  
先生も  
うれしいよ！

やる気を見せる生徒も現れ  
ボクは教える喜びに  
日々包まれていた





試験中

え？



とまどうことは  
まだまだあった



…そうはいつでもなあ  
彼らにとつてあれは  
助け合いなんだよ



先生、生徒たちが  
カンニングしているのを  
注意しないんですか？



なんとか良くしようと  
同僚の先生たちに  
正直な気持ちを  
ぶつけてみると  
彼らの気持ちがボクから  
離れていくのを感じた…

日本の学校での  
当たり前が  
まるで通じない



子どもたちなら  
問題を解いてるよ

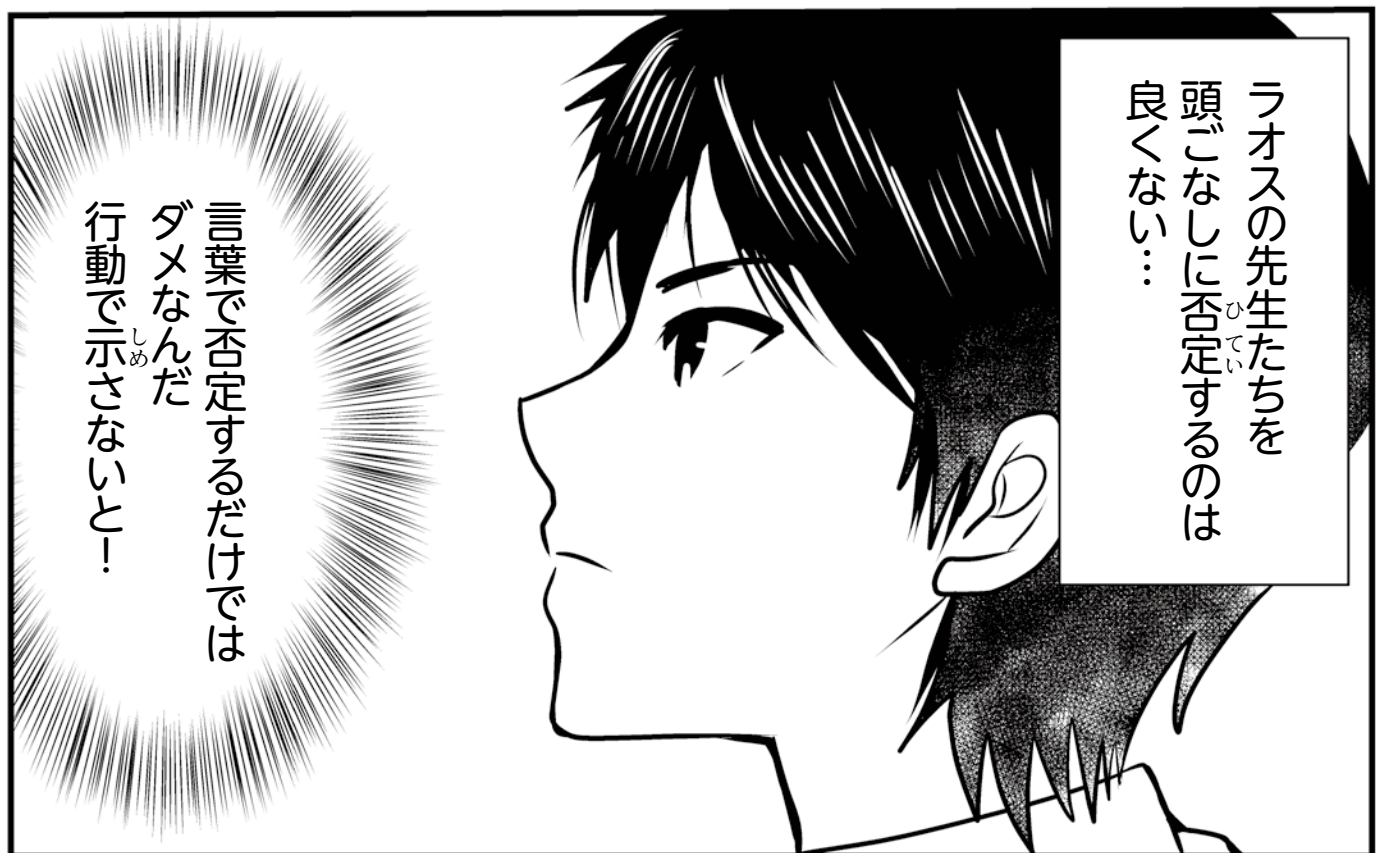
教室の外で  
おやつを  
食べる先生が  
いたり…

教室に  
いた方がよい  
のでは…？



問題を解く時間に  
遊んでいる  
生徒がいたり

※マンゴーソム  
ラオスではよく熟れる前のマンゴーやパパイヤなどの果物に、  
辛くて酸っぱいたれをつけて食べています。  
その文化を「キン・ソム(「食べる・すっぱい」という意味)」  
と呼びます。





今日はみんなであ  
るテーマについて  
話し合ってみよう

テーマって？

カンニングについてだよ  
みんなはどう思う？



そんなの悪いに  
決まってる！

何で？  
カンニングは  
助け合いでしょ！



カンニングができないよう  
隣同士とろどうしで問題の数値すうちを変えた  
テスト形式も試してみた



でも  
それだと勉強が  
身についたと  
言えないかも

そうだけど…

みんな話合  
う機会をつ  
くったり



月日は流れ

ボクの考えも  
みな徐々に  
理解される  
ようになり

生徒たちとは  
授業以外でも  
いい関係を  
築くことができた

任期終了直前  
生徒たちと  
タイムカプセルを  
埋めた

カプセルの中には  
5年後の  
自分への手紙が  
入っている  
彼らが  
卒業する時に  
掘り出す予定だ

5年後あの  
タイムカプセルを  
掘り出す時

先生も  
戻ってくるからな

ああ

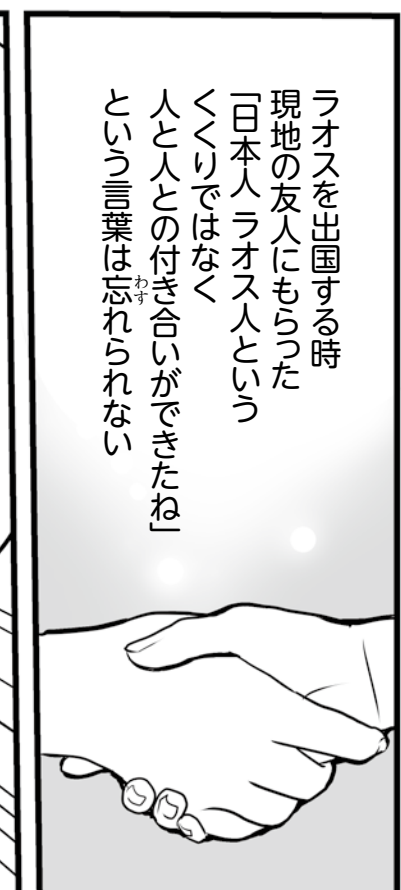
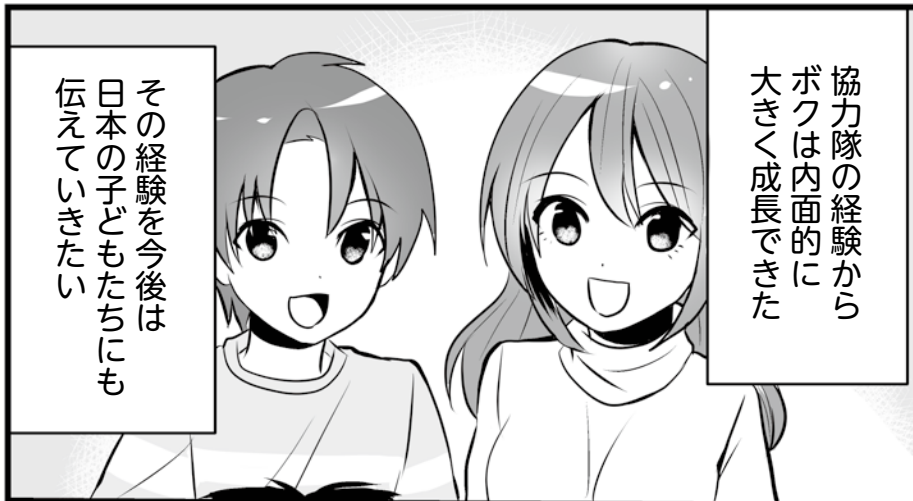
こちらこそ  
ありがとう

こうして2年間の活動は  
あつという間に  
終わりを迎えた

絶対だよ

先生  
元気でね

本当に  
ありがとう





**JICA海外協力隊ウェブサイトで他のストーリーも読めます！**

<https://www.jica.go.jp/volunteer/manga/>

マンガで知る青年海外協力隊

検索



※本誌に掲載されている内容はJICA海外協力隊ウェブサイト「JICA海外協力隊の人とシゴト」のインタビュー記事を元に作成しており、マンガ内の表現等は、JICAの公式見解を示すものではありません。